

小論文問題冊子

(社会人専修コース 演習 A)

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. これは、経営学専攻（博士課程前期）社会人専修コース 演習 A の問題冊子です。
出願しているコース及び演習と同じであることを確認してください。
3. 試験時間は、90分です。
4. 試験問題についての質問は、受けつけません。
5. 試験開始後、ただちに解答用紙の中の受験番号記入欄に受験番号を正しく記入してください。（氏名は記入しないでください。）
6. 解答は、日本語で行ってください。
7. 問題冊子・解答用紙に汚損等がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

令和 7 年 度

横浜国立大学大学院国際社会科学府(博士課程前期)入学試験問題

経営学専攻 社会人専修コース 【演習 A】

「両利き経営」に関する以下の文章を読んだうえで、以下の二つの問いに答えなさい。

流動的な経営環境の下で企業が長期的に存続するためには、既存事業を強化するとともに新規事業を創造する必要がある。既存事業を強化するためには、企業内に既に保有している知識をさらに深めて既存の強みを効率的に活用することが求められる。一方で、新規事業を創造するためには、経営上のリスクを冒して実験的な試みを展開し新たな強みを探索する取り組みが不可欠である。企業がこれらの両方の取り組みを同時に追求する経営を「両利き経営」と呼ぶ。

- (1) 企業が「両利き経営」を実践する際の課題について、経営戦略の観点から具体的に説明しなさい。
- (2) 企業が「両利き経営」を実践する際の課題について、組織および人材の管理の観点から具体的に説明しなさい。